ログハウス設計コンペ募集要領

1本設計コンペ主催者

一般社団法人日本ログハウス協会

2スケジュール

　　参加登録期間　平成30年2月1日～平成30年4月10日

　　作品提出期間　平成30年2月26日～平成30年4月16日

　　一次審査　　4月下旬

　　二次審査及び表彰　5月下旬及び平成30年6月11日

3設計課題

　　ログハウス住宅（別荘、集合住宅等を含む）の有する諸機能を最大限発揮しつつ、耐火性能、耐震性能、遮音性能等の確保のほか、近未来の子・孫の生活スタイルにも柔軟にマッチすることができる、優れた発想・夢のもとでのログハウスの提案

4設計条件

1. 敷地面積は500㎡以内（集合住宅の場合は900㎡以内）とし

て、敷地条件、住宅等の床面積は適宜想定するものとする。

1. 敷地設定については下記の点において考慮することが必要となる。
	1. 全国にはログハウスが積極的に建築されている地域があります。それらの特性を活かし、さらに魅力ある地域づくりに繋がるログハウスを提案すること。

（一方、ログハウスの建築が諸条件から気薄な地域があります。建築促進のモデルとなるログハウスの提案。）

* 1. 詳細設定の必要はないが、施工想定する地域をあらかじめ指定すること。
	2. 当該地域の建築技術やスギ、ヒノキ、カラマツ等大丸太を活かし、将来に残すことの仕組み、構法の提案に繋げる。
1. 1階～3階建て　　設計した地域等で、これ以外の提案がある

　　場合は、その旨を明記することができる。

1. 家族構成は自由とする
	1. 設定した家族構成に見合う間取りになること
	2. 設定した家族構成、設計した家のコンセプトを　設計図に明記する。
2. 丸太組構法によるログハウス住宅　なお、縦形ログ(在来軸組)、ポスト＆ビーム等を含むものとする
3. 優れた発想・夢のもとでのログハウス　→　構法の発展

昭和61年3月丸太組構法のオープン化が実現して以来、30余年が

経過。この間の技術発展を踏まえ、CLT等とのコラボなど、提案者にマッチした構造提案を行う。

　（構造計算などの分析は不要とします。）

5　応募資格

　応募資格は以下のすべてを満たすものとする。

1)大学等で建築を学ぶ学生，院生等。応募時点で35歳以下とする。

2）国籍は問わないが、外国籍者は日本留学等3ケ年以上の

経験者とする。

3）個人またはグループ応募として、グループの場合には4者以下

　のグループとする。グループには名称を付す。

1. 独自の考えで作成提案するもので、委託等は行わない。

5）応募者に説明を求めることがあり、確実に連絡が取れることとする。

6）作成段階で第三者のアドバイスを受けることを妨げない。

 6　提出書類

　　応募に必要な書類は以下とする。

1. 応募用紙・参加者全員の氏名、大学等　学部を記入
2. 課題説明書

下記の内容応募書に記載する　最大でA4　用紙2枚まで

　・設計したログハウスのコンセプトとPRポイント

　・ログハウスの総額と使用木材の総額想定

　・提案ログハウスで地域振興にどのような効果があるか

　・設計図（A1用紙1枚)　+　応募書A4用紙2枚となる

　　配置図、平面図、パースは最低限記載すること。必要に

より立面図、伏図等提出する

　・提案するログハウス住宅のイメージが解りやすく表現

されていること

　　　　　・設計図のデータの提出

1. 当該設計コンペにかかわる経費は自己負担となる。

7　賞

　　ログハウス建築コンテストと同様とする。

　　なお、当該応募作品部門については

　　　一般社団法人日本ログハウス協会

　　　　会長賞　ログハウス設計部門特別賞を設定する　2作品程度

　　　**平成30年度ログハウス設計コンペ部門応募登録**

１応募登録年月日　平成30年２月　日

２応募予定氏名等　　　　グループ名　　　　(個人の場合は不要　)

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 　　氏　　名 | 年齢 | 大学 | 住所(電話等) |
| １２３４　４者以内 |  |  |  |

　　　(注)　グループ代表者に◎印を付してください。そして電話、メール等記入。またグループ名記入ください。

・併せて外国籍者については、大学等入学年次を明記願

います。

**ログハウス建築設計コンペ部門応募用紙**

１応募者氏名(グループ名及び代表者名　グループ応募は４者以内)

　・住所　〒　　　　　県　　　　　市　　　区

氏名　大学・院生等・学部、年齢、電話、メール等

　・設計作品名

(注)漢字、ひらかな等１５字以内とすること。

　・応募されるログハウス住宅等の種別を選択する。

　　　　　(注)設計において、最も適合と想定される構法について〇印をつける。

　　　　　　　その他工法については、具体的に記入すること。

　　　・丸太組構法

　　　・軸組構法・縦ログ

　　　・その他混構法等　(　　　　　　　　　　　　　　　　　　)

　・用途　　住宅、別荘、集合住宅、その他・住宅

　　　　　　(注)設計において、最も適合とする用途につい　○印をする

２　魅力あるログハウスの地域モデルとなる地域名

または　ログハウス建築推進が今後に期待する地域名

　　(注)ログハウス設計において、最も適合と想定される地域名を記入する。

３　課題説明書

　　A4　2枚にまとめて　課題説明書　とする。

　　1)設計のコンセプト　PRポイント

　　　　当該ログハウスは、設計テーマにどのようにアプローチして

いるのかまとめること。特に表現した技術はどのようなものか。

　　2)当該ログハウスは、建築見込みとして、スギ等ログ材をどの程

　　　度使用するのか。また、その建築工事金額、見込み総額はどの

ようか。技術開発を通じた低コスト化など改善の工夫を表現す

ることができる。

　　3)当該ログハウスは地域振興にどのように貢献するか。

　　　・3世帯住宅の視点からのログハウス

　　　・居住空間の設計の工夫

　　　・山村移住者向けログハウス住宅

　　　・応急仮設住宅としてのログハウス

　　　・集合住宅等ログハウスが地域の中核となること

の仕組み→　交流の輪創造

　　　・多世帯住宅としてのログハウスの技術開発

　　　・CLT等関係事業体とのコラボ事業の実施

などの事例を創造

　　4)設計図A1用紙1枚(A3×4枚も可)

　　　配置図、平面図、パースは最低限として提出すること。

　　　なお、立面図、伏図等は必要により提出することができる。

1. 設計図のデータの提出

　　建設地

　　規模

　　建築用途

　　延床面積

　　建築面積

　　軒高

　　建物高さ

　　基礎の底部深さ

　　構造種別

　　　　木造　丸太組構法

　　　　基礎　RC造

　　設計方針

　　ログ部材断面詳細

　　ダボ配置図　　　などについて列記する。